

施策マネジメントシート ～平成30年度の振り返りから2019年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）（5月中に記入）

長期振興計画 の位置づけ	まちづくり分野		くらし分野		担当課		建設課・水道課・市民生活課			
	政策分野		社会基盤・環境		課長名		古田一男・上妻敏男・川畑利昭			
	施策		1 快適な生活環境の整備		重点施策の該当		H30	○	2019	-
施策の目的	対象	市民、来訪者		意図	環境に負担が少なく、便利で快適な生活を送ることができる					

施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時	指標の推移(下段の()書きは当初見込み値)					最終目標値
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	2019年度目標値	2020年度目標値	2021年度目標値	
住みよいまちと感じている人の割合(%)	76.2	74.4	73.1 (76.5)	77.0	77.5	78.0	

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		2019年度実績		2020年度実績		2021年度実績	
重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)
82.4	43.9	85.6	43.0						
重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI
76.2	20.2	82.1	18.2						

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連 戦略 No.	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移(下段の()書きは当初見込み値)					最終目標値
			28年度実績	29年度実績	30年度実績	2019年度目標値	2020年度目標値	2021年度目標値	
住環境の整備		住んでいる住宅に不便を感じている人の割合(%)	10.2	9.2	11.6 (9.2)	9.2	9.2	9.2	
住環境の整備		空家に関する苦情件数(件)	4	3	3 (3)	3	3	3	
水の安定供給		有収率(%)	82.25	79.56	79.44 (82.27)	82.28	82.29	82.30	
水の安定供給		水道使用料徴収率(%)	98.69	98.60	98.49 (98.71)	98.72	98.73	98.75	
道路整備の充実		市道改良率(%)	59.8	59.8	59.8 (60.1)	59.8 (60.2)	59.9 (60.3)	60.0 (60.4)	
港湾整備の充実		補修対象施設数(港)	56	56	54 (54)	52	51	50	
地域特性を生かした景観づくり		あっぱ～らんの利用者数(人)	43,006	41,042	38,472 (44,000)	44,000	44,000	44,000	
地域特性を生かした景観づくり		都市公園利用者数(人)	32,190	31,000	31,000 (33,000)	33,000	33,000	33,000	
環境衛生対策の推進		合併処理浄化槽の年間設置基数(基)	82	74	95 (100)	100	100	100	
環境衛生対策の推進		単独処理浄化槽からの年間設置替え基数(基)	10	5	7 (10)	10	10	10	
環境衛生対策の推進		火葬設備のトラブルの件数(件)	8	0	0 (2)	0	0	0	
自然環境の保全		市民一斉海岸清掃参加者数(人)	1,800	2,021	1,800 (2,100)	2,200	2,300	2,300	
自然環境の保全		美化活動によるごみの収集量(t)	38	50	50 (52)	54	56	56	
適正な廃棄物処理	1-1	可燃ごみの収集量(t)	2,800	2,783	2,791 (2,740)	2,710	2,680	2,650	
適正な廃棄物処理	1-1	資源ごみの分別収集品目(品目)	13	13	13 (14)	14	15	15	
適正な廃棄物処理	1-1	不法投棄報告件数(件)	37	31	23 (25)	20	15	15	

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
[建設課] 基本事業No.1・3・4・5	・生活環境を取り巻く状況は多様化し、社会基盤の老朽化や情報通信・地域環境も変化していることから、これらに対応する環境整備が求められている。
[水道課] 基本事業No.2	・市内全ての水道が上水道の給水区域となり料金収入は一次的に増加するものの、人口減少に比例して全体の料金収入は減少していく。また、投資した建設事業費の返済と老朽施設の更新が必要で、水道事業の経営は厳しい状況が続く。
[市民生活課] 基本事業No.6・7・8	・合併処理浄化槽については、平成21年3月策定の生活排水処理基本計画に基づき、国及び県、市の補助金を活用した事業を展開しているが、進捗状況としては、平成30年度目標の54.1%に対し、実績は53.4%と計画通りの成果となっている。しかしながら、近年国より令和8年度までに概成95%となるよう計画の見直しを指示され、その意向に合わせた数値に修正したところである。本市の令和8年度達成率は約80%としていたことから、現状の年間設置基数目標を大幅に増加させた取り組みが必要となっている。一方で生活排水処理対策について他の処理方法活用の可能性の検討について市長指示があり、検討チームで検討することとなっている。

施策マネジメントシート ～平成30年度の振り返りから2019年度の取組へ～

施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題		
	成果	現状・課題
[建設課] 基本事業No.1・3・4・5	・市営住宅については「西之表市公営住宅長寿命化計画」を平成29年度見直し、桜が丘団地の改修など効率的・効果的な修繕や改修を行った。【修繕1カ所】 ・道路、橋梁、漁港、港湾の設計委託や改良工事を行った。【改良工事:道路2カ所、橋梁2カ所、漁港1カ所、港湾1カ所】 ・あっぱ〜らんどにおいては、多目的グラウンドの防球ネットの設置を行った。	・市営住宅においては、老朽化が進んでいる住宅やバリアフリー未対応の住宅など、居住水準の低い住宅が多く存在している。入居者からの建替えや改修の要望がある。 ・道路、橋梁、漁港、港湾の整備についても市民から多くの要望があるが、財源などの課題があるので優先順位により事業を行っている。 ・あっぱ〜らんどにおいては、多目的グラウンドの防球ネットの設置工事や屋根付き競技場のLED化等を計画的に実施する必要がある。
[水道課] 基本事業No.2	・漏水事故防止と有収率向上のために管路の耐震化事業を進めると共に、簡易水道と集落水道を上水道へ統合するための施設整備を行った。 ・安心・安全な水を安定して供給するために、各水道施設の運転状況を阿曾浄水場で集中監視するシステムを構築した。	・送配水管の漏水や破損事故が例年より多く発生し、有収率が向上しなかった。管路全体の更新率は低い状況にあり、耐震化を含めた施設整備を計画的に実施する必要がある。 ・水道料金の現年度分徴収率は比較的高い水準にあるものの、過年度分の徴収率が低かった。
[市民生活課] 基本事業No.6・7・8	・合併処理浄化槽の設置目標が達成できなかった。	・市民へ補助金交付についての周知不足の可能性はある。また、自己負担(約6割)の影響や設置場所の影響等その他の要因について解析が必要である。
今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)	
継続・現状維持	[建設課] 基本事業No.1・3・4・5	・社会資本整備事業(交付金)を活用し市営住宅、道路、橋梁、漁港、港湾、都市公園の整備を進めるとともに、ストックの有効活用、施設の長寿命化を図り、効率的な維持管理を推進する。
継続・現状維持	[水道課] 基本事業No.2	・施設の耐震診断など資産の現状把握を行い、施設整備に関する投資と財源に関する見直しから中長期的な収支計画となる経営戦略を作成し、その方針に沿った事業経営を行う。また、経営基盤である水道料金の徴収率を高い水準で維持する。
継続・現状維持	[市民生活課] 基本事業No.6・7・8	・合併処理浄化槽設置に係る補助の内容など定期的な広報活動に努める必要がある。また、単独補助金の見直しや施工困難場所への対応策など検討する必要がある。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
継続・現状維持	・施策担当課の記載する方向性のとおり。